

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 26 年度第 3 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 26 年 11 月 4 日(火) 15:00 から 17:00 まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会会議室  
III. 参加者：田宮委員長、及川委員、今井委員、家本委員、朽尾委員、山本アドバイザー  
Skype：金子委員、渡辺アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本

#### IV. 検討事項

##### 1. 講習内容の検討

開催要項確定に向け、共通講義及び各コース内容の検討を行った。

###### (1) 共通講義について

- ・ 共通講義を 1 日目と 2 日目に分け、反転授業の事例はその後のコースでも継続してお願いすることになった。
- ・ 各コース内容のところに共通講義の記述を入れることにした。

###### (2) タブレットを意識した電子書籍型教材作成コースについて

- ・ 前回の提示内容からの変更はないが、最後の発表部分は、全体討議とまとめの記述にすることにした。

###### (3) LMS 活用コースについて

- ・ 前回の提示内容から大きな変更はない。
- ・ 最初の講義部分を「アクティブ・ラーニングとは」として、双方向・参加型授業コースと合同で実施することにした。
- ・ Pad は会場校の機材の利用も検討する。

###### (4) 双方向・参加型授業コースについて

- ・ コース名は、「双方向・参加型授業コース」にすることにした。
- ・ 反転授業の組み立てにしていたが、講師の関係もあり、アクティブ・ラーニング全般として組み立てることにした。
- ・ 1 日目は、アクティブ・ラーニングの概要部分を LMS コースと合同で実施。その後コースで初年次ゼミなど学力不足への対応について講義し、演習として参加者各自の授業のアクティブ・ラーニング化を行うことにした。
- ・ 2 日目は、アクティブ・ラーニングの成功・失敗事例や ICT 活用についての講義。共通講義から継続して反転授業の授業づくりのテクニックについて講義し、反転授業の実現に向けての全体討議を行うことにした。
- ・ 3 日目は、参加者各自の授業をアクティブ・ラーニングとして考える演習とし、グループや全体でレビューや討議を進めることにした。
- ・ 反転授業の講義部分については、委員が講師を訪問し、内容の検討をすることにした。

##### 2. 開催要項の確定

理事会に提出のため、細部の調整を後日事務局で行い、Net で確認することにした。

- ・ 2 日目の講師 1 名が対応不可となったため、事例ビデオとして質疑のメール対応にした。
- ・ 趣旨説明部分を見直し、アクティブ・ラーニングに踏み切れない記述を除いた。
- ・ コース内容部分に時間を表記し、表形式にした。

#### V. 今後のスケジュール

- ・ 今回は 1 月 19 日に委員会を開催し、各コース内容を検討することにした。